

【市場展望】上昇の勢いを増す日本株

■ 最高値更新が続く日本株

今週（6月1日～5日）の東京株式市場は、高値圏での推移が続くだろう。前週末の日経平均株価は6万6,329円で終え、週間では2,990円上昇した。米国とイランの戦争終結への交渉進展観測を追い風に人工知能（AI）・半導体株がけん引した。

日経平均株価の25日移動平均線乖離率（5月29日現在、7.15%）が広がってきていることから、短期的な利益確定売りも出そうだ。ただし、日本株の先高期待が強く、人工知能（AI）関連株を始めとした銘柄への国内外の投資家による買いは続くとみられる。

国内では3日に植田日銀総裁の講演が予定されている。6月の日銀金融政策決定会合は15～16日に予定されている。市場が6月の利上げを想定する中、利上げを示唆するかが注目だ。さらに、週末には米国で5月の雇用統計の発表が控えており、週末は買い手控えとなる可能性も考えられる。

■ 際立つ日本株の上昇

日本株の上昇の勢いが止まらない。年初から5月末までの騰落率を見ると、米国のS&P500種株価指数が10.7%上昇、欧州の主要指数であるSTOXX欧州600指数は5.7%上昇に、とどまる一方、日経平均株価は31.8%と大幅な上昇を記録した。

このように日本株のパフォーマンスが際立っている背景には、三つの理由がある。第一に、東京証券取引所による「資本コストや株価を意識した経営」の要請以降、企業の経営陣の間でROE（株主資本利益率）向上への意識が一段と強まり、コーポレートガバナンスの強化が進んでいる。その結果、企業が抱え込んでいた現預金を適切に活用した自社株買いや増配を行う企業が急増し、株主還元が進んだ。さらに、不採算事業の売却や政策保有株式（持ち合い株）の解消による資産の流動化も進み、企業の資本効率に構造的な底上げを迎えている。

第二に、高市首相が率いる自民党が年明けの衆院選で大勝したことにより、首相の政権基盤が強まり、「責任ある積極財政」政策への期待が高まった。

第三に、企業の「稼ぐ力」そのものが大きく向上している。インフレの定着にともない、原材料高や人件費の上昇を製品価格へ適切に転嫁できる経営体質へとシフトしている。さらに、世界的な人工知能（AI）市場の拡大も追い風となり、半導体関連や材料メーカーなどがサプライチェーンに欠かせない企業として存在を増し、収益を拡大させていることだ。

（2026/6/1 大塚 俊一）



【重要開示事項】

- この資料は情報提供を目的として作成されたものです。投資勧誘を目的としたものではありません。そのため証券取引所や証券金融会社が発表する信用取引に関する規制措置等については記載しておりません。
- この資料は信頼しうるデータ等に基づいて作成されたものですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、将来の株価等を示唆・保証するものでもありません。
- 記載された内容・見解等はすべて作成時点でのものであり、予告なく変更されることがあります。
- この資料に関するお問い合わせは、弊社担当者へお願いいたします。

【ご投資に当たっての注意事項】

- 有価証券の価格は売買の需給関係のみならず、政治・経済環境や為替水準の変化、発行者の信用状況の変化、大規模災害の発生による市場の混乱等により、変動します。そのため有価証券投資によって損失を被ることがあります。商品や銘柄の選択および投資の時期等の決定は、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。
- 弊社は資料に記載された有価証券を保有または売買することや、資料に記載された企業に対し投資銀行業務を行うことがあります。
- 弊社取扱商品の購入申し込みをされる際には契約締結前交付書面、目論見書等を必ずお受け取りください。商品ごとにリスクや手数料等費用は異なりますので、内容をよくご確認ください。目論見書等は弊社担当者へご請求ください。

【手数料等の費用について】

- 株式等（ETF・ETN・REIT等を含む）のお取引にあたっては、約定代金に対して最大1.43%（最低手数料3,300円（税込み））の委託手数料をいただきます。株式等を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 投資信託のご購入にあたっては、お申込み金額に対して最大3.3%（税込み）の購入時手数料をいただきます（換金時に換金時手数料としていただく場合もあります）。また保有期間にわたって信託財産の純資産総額に対し最大2.585%（税込み・年率）の運用管理費用（信託報酬）およびその他の費用を間接的に負担いただきます。さらに換金時に最大1.0%の信託財産留保額を負担いただく場合があります。
- 債券を募集または弊社との相対取引で購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。